

# 自己評価結果公表シート(平成28年度)

学校法人山脇学園 友星幼稚園

## 1. 本園の教育

目標:身体は元気に 心は豊かに  
方針:やさしく思いやりのある子ども  
強くたくましく元気な子ども  
豊かな感性をもつ子ども

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己評価を実施することで、教職員自らが客観的に自園を見つめ直し、それぞれの課題を見出す。

## 3. 評価項目の取組状況

評価項目	取組状況
指導計画策定	幼稚園教育課程に基づき、各項目に対する指導計画を各学年、各学期毎に加筆、修正を行う。
特別支援教育	教育研究所や市の福祉医療等関係機関と連携し、心理指導員の助言をもとに個別の支援方法に務める。
子どもの安全	全教職員が子ども達の安全管理者としての意識を高め、遊具の点検及び園庭等の安全確保に務める。
園内研修の充実	教職員が互いの保育を建学し、意見や気づいた事を出し合うことにより、自らの保育を見直すとともに教育の質の向上に努める。
災害から子どもを守る	月一度の避難訓練時に、その時に応じた安全な避難経路の確保や避難方法を検討し、子どもの安全確保に努める。
子育て支援	早朝保育(午前8時～8時45分)の導入と預かり保育の時間延長(午後7時まで)及び利用料(月極め制度の実施)の割引に努める。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全教職員が話し合うことにより、取り組むべき課題に対する共通の理解をもつことが出来た。また、それぞれが自己評価することにより、本園の保育を再確認するとともに方針を明確にした。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
通園バス路線の拡大	入園希望の幼児を広く受け入れるため、送迎バスの運行に関し路線の拡充及び便数の増を図る。
自然環境を活かした保育	恵まれた自然環境を活かした保育を推進する。また、菜園での野菜作りなど土と親しむ遊びを通した保育(食育)の充実を図る。
保育業務の分散化	これまで教職員がすべて取り組んできた業務を分散させ、教職員の負担を軽減させる。送迎バスの添乗、預かり保育の専任担当等、職員を増員して担任の負担を軽減させる。

#### 6. 学校関係者の評価

園の教育目標及び教育方針に沿った取り組みについては、機会のある度に園長や教職員の方々から聞き及び十分理解できている。  
今年度も菜園でのキュウリやさつま芋等の野菜づくりや自然とのふれあいを通して、子ども達の食育につながるよう配慮されたことは大いに評価したい。  
また、朝夕の預かり保育時間の延長や保育料の軽減は、保護者にとって大きな喜びであり、今後とも継続を願うところである。